

## アンケート調査集計表

方部名	市町村名	1 洪水・土砂災害ハザードマップ等防災計画の住民への周知(認知度向上)の徹底に関する取組	2 情報伝達手法の改善に関する取組
喜多方	喜多方市	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育てサポートセンターにおいて防災に関する勉強会を実施し、ハザードマップ等について改めて周知を図った。</li> <li>県河川の想定最大規模での浸水区域公表後、洪水ハザードマップの見直しを行う予定。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>防災行政無線未整備の地区に対し、V-Lowマルチメディア放送による情報伝達体制を整備し、各戸に戸別受信機(防災ラジオ)の配布を開始した。</li> <li>令和元年度も戸別受信機の配布作業を継続。</li> </ul>
	北塩原村	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年10月に大塩地区において防災計画を活用した避難訓練を実施した。</li> <li>令和元年10月に北山地区において防災計画を活用した避難訓練を実施する予定。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難情報等が住民に確実に伝わるよう毎年防災行政無線の点検を実施しているほか、防災行政無線を用いた防災訓練を実施した。</li> <li>避難勧告や避難指示発令の基準やマニュアルの作成を予定。</li> </ul>
	西会津町	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年4月に町内自治区にハザードマップを全戸配布した。</li> <li>平成30年4月に町HPでハザードマップを閲覧できるように整備した。</li> <li>平成30年9月に集会所や事業所、町消防団屯所に配布(掲示)した。</li> <li>平成31年3月までハザードマップに記載されている避難所等が地域防災計画と整合性が図られているか確認する予定。</li> <li>令和2年3月まで各地区でハザードマップを活用して避難路や避難場所等の確認等を行う予定。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年7月にCATVにおける防災行政無線の放送について住民に周知した。</li> <li>令和元年度にHPや広報誌等、あらゆる機会を利用して、情報伝達手段について住民に周知する予定。</li> <li>令和元年度に携帯端末を利用した登録制メールの積極的な活用に向けて、広報誌等で住民へ促す予定。</li> </ul>
	磐梯町	<ul style="list-style-type: none"> <li>水害ではないが、平成30年1月に火山防災マップを作成・配布したため、平成30年4月から7月にかけて住民説明会を開催し、避難所や避難経路の説明を行った。</li> <li>また、平成30年12月に、町内の避難所・避難場所のうち10箇所に明示看板を設置し、災害時避難先の認知度の向上を図った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>防災行政無線屋外子局及びIP告知システムにより、屋内外問わず情報の受信が出来るよう整備している。</li> <li>また、非常事態発生時には、防災行政無線や緊急速報メール、広報車等により情報の発信を行うと共に、消防団、民生児童委員等の協力を得て、避難情報の伝達を行うこととしている。</li> <li>より確実な情報伝達の手段については、現在検討を重ねているところである。</li> </ul>
	猪苗代町	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年8月に県で指定している土砂災害(特別)警戒区域に基づき土砂災害ハザードマップを作成し地区住民に配布した。</li> <li>平成30年10月に町のHPに土砂災害ハザードマップを掲載した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年度に防災行政無線屋外子局増設工事を行い、不感地域を解消した。</li> </ul>